

まじめに感動素材

TAYCA REPORT

第158期 年度報告書

2023年4月1日から2024年3月31日まで

TAYCA

テイカ株式会社

証券コード: 4027

トップメッセージ

Top Message

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は第158期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)を終了しましたので、決算の概況などをご報告申し上げます。

■ 当期の業績について

当期は、原燃料価格の高止まりによるコスト上昇等に加えて、導電性高分子薬剤等の販売が低調であったことにより、売上高は529億9千3百万円(前期比3.3%減)、営業利益は23億2千5百万円(前期比45.0%減)、経常利益は28億2百万円(前期比40.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は18億6千6百万円(前期比37.5%減)となりました。

■ 次期の見通しについて

汎用用途の酸化チタンについては、引き続き収益面で厳しい状況になると予想され、機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品については、各国の市況を注視しつつ販売維持・拡大に努めます。また、電子材料については、需要は好調に推移するものと予想され、特に圧電振動子については、更なる販売拡大に努めます。さらに、化成品事業についても、需要への対応に注力します。



代表取締役 社長執行役員
出井 俊治

次期の連結業績の見通しにつきましては、現時点では売上高575億円、営業利益32億円、経常利益35億円、親会社株主に帰属する当期純利益23億円を見込んでおります。

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の期末配当は1株当たり20円とさせていただきます。

年間配当金(2024年3月期)

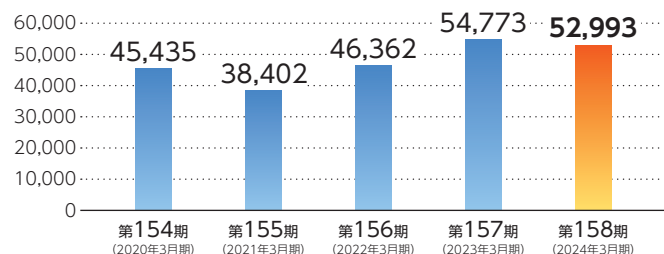
中間 18円

期末 20円

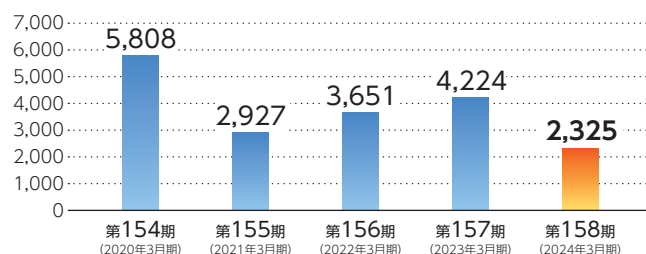
連結財務ハイライト

Consolidated Financial Highlights

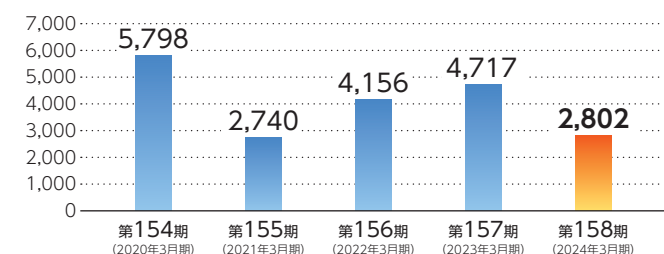
■ 売上高 (単位:百万円)



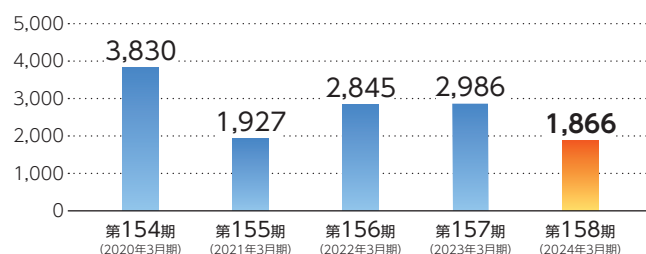
■ 営業利益 (単位:百万円)



■ 経常利益 (単位:百万円)



■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



機能性材料事業

酸化チタン、微粒子酸化チタン、
微粒子酸化亜鉛、
表面処理製品等の製造・販売

- ▶ 汎用用途の酸化チタンは、海外競合メーカーとの競争が激化した影響等により、販売数量は減少したものの、販売価格改定を進めたことにより、売上高は前期を上回る。
- ▶ 機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品は、国内を中心に化粧品原料向けの販売が回復し、販売数量、売上高ともに前期を上回る。

売上高

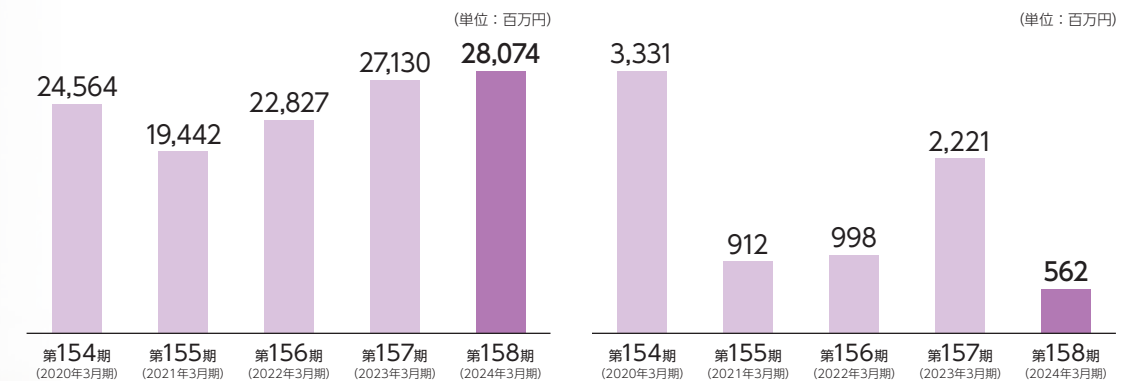
28,074百万円

前期比 3.5%増

営業利益

562百万円

前期比 74.7%減

セグメント別
売上高構成比52,993
百万円

44.6%

2.4%

電子材料・化成品事業

圧電材料、導電性高分子薬剤、
界面活性剤、無公害防錆顔料等の製造・販売

- ▶ 圧電材料は、医療機器用の国内顧客向けの販売は堅調に推移したものの、海外顧客の在庫調整等の影響により、売上高は前期を下回る。
- ▶ 導電性高分子薬剤は、新規用途での採用があったものの、スマートフォンやパソコン需要の低迷により、販売数量、売上高ともに前期を下回る。
- ▶ 界面活性剤は、日用品洗剤用途向けの販売が低調に推移し、販売数量、売上高ともに前期を下回る。
- ▶ 無公害防錆顔料は、自動車生産の回復により国内需要は増加したものの、輸出が低迷したことにより、販売数量、売上高ともに前期を下回る。

売上高

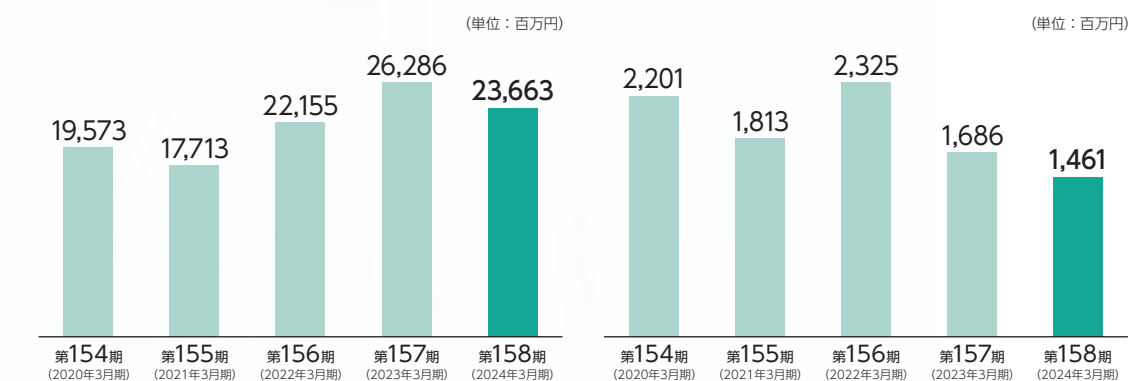
23,663百万円

前期比 10.0%減

営業利益

1,461百万円

前期比 13.3%減



その他

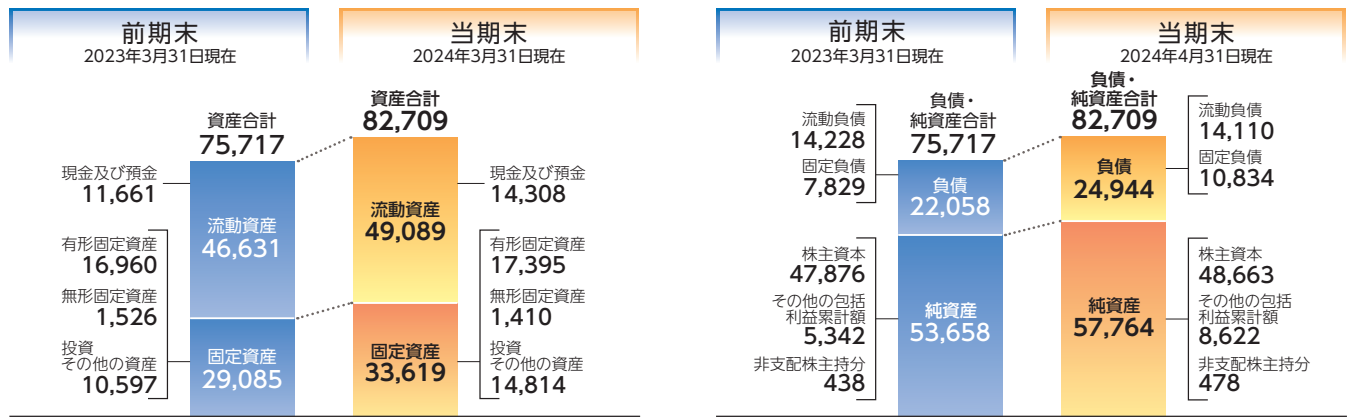
化学工業薬品等の輸送・保管

- ▶ 倉庫業は、荷動きが新型コロナウイルス感染症の拡大前の水準には回復しない状況が続いていることにより、売上高は前期を下回る。

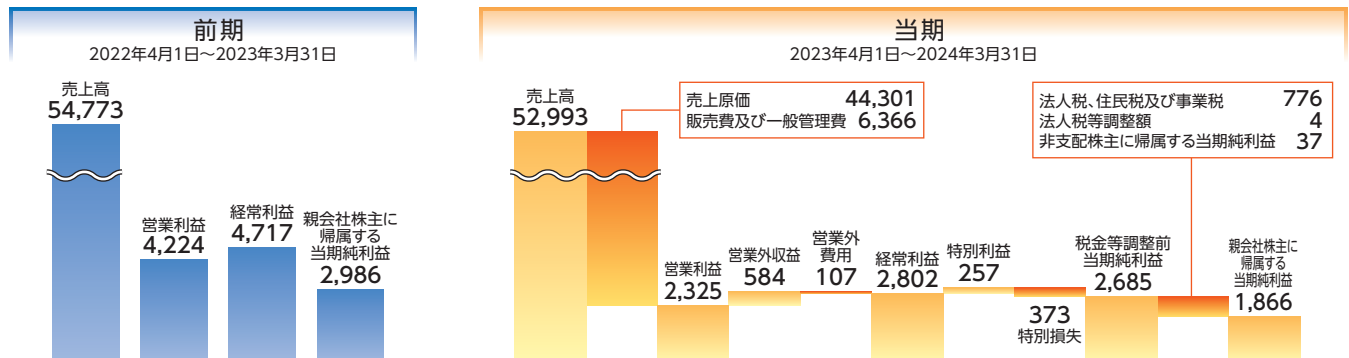
※1 第155期第1四半期会計期間より、報告セグメントを従来の「酸化チタン関連事業」「その他事業」の2区分から「機能性材料事業」「電子材料・化成品事業」の2区分に変更しております。

※2 報告セグメント区分の変更に伴い、第154期の数値に関しては、変更後の算定方法及び変更後のセグメント区分にて組み替えた数値で比較をしております。

● 連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



● 連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



特集

▶ 新中期経営計画「MOVING-10 STAGE2」策定のお知らせ

当社グループは、長期経営ビジョン「MOVING-10」の最終年度である2029年度に向けての重要な3年間となる新中期経営計画「MOVING-10 STAGE2」を2024年5月10日に公表しました。

新中期経営計画「MOVING-10 STAGE2」基本方針

事業戦略

- 営業利益率の回復
- 競争優位事業への積極投資と増強
- 事業の選択と集中
- 新規事業の実現
- プロセス改善と生産性向上

財務・非財務戦略

- 資本効率経営とテイクブランドの確立
- 人的資本拡充
- CO₂排出量の削減

目標経営指標(連結) 2027年3月期(最終年度)

売上高	営業利益	営業利益率	ROE	EBITDA
680億円	60億円	9%以上	7%以上	105億円

財務・資本政策

総投資額 ▶ 220億円 (うち、収益の源泉となる成長投資115億円)

株主還元 ▶ 総還元性向40%以上 (安定配当と積極的な自己株式の取得)

当社は、株主還元の充実を図るため、2024年2月7日開催の取締役会において自己株式の取得について決議し、実施いたしました(取得した株式総数:163,700株、株式の取得価額の総額:約2億5千万円)。

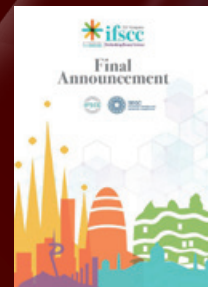


テイカ博物館

第7回 化粧品原料その4

国際学会IFSCC Congress2023バルセロナ大会にて 口頭発表を行いトップ10に選出

2023年9月、テイカはスペイン バルセロナで開催された、
国際化粧品技術者連盟 (IFSCC) が主催する世界最大の化粧品学術大会
「IFSCC Congress2023」にて最新の研究成果の発表を行いました。
IFSCC Congressは年に一度開催され、世界中の技術者が化粧品に関する
最先端の研究内容を発表する学会で、今回は多数の投稿の中、76件しか
選ばれない口頭発表に選出されました。さらに、その中でその研究内容が高く
評価され、最終的にトップ10に選出されました!



発表
タイトル

処方技術と原料設計技術を駆使した高い紫外線防御能を有する
水中油 (O/W) 型のミネラルサンスクリーン (日焼け止め) の設計

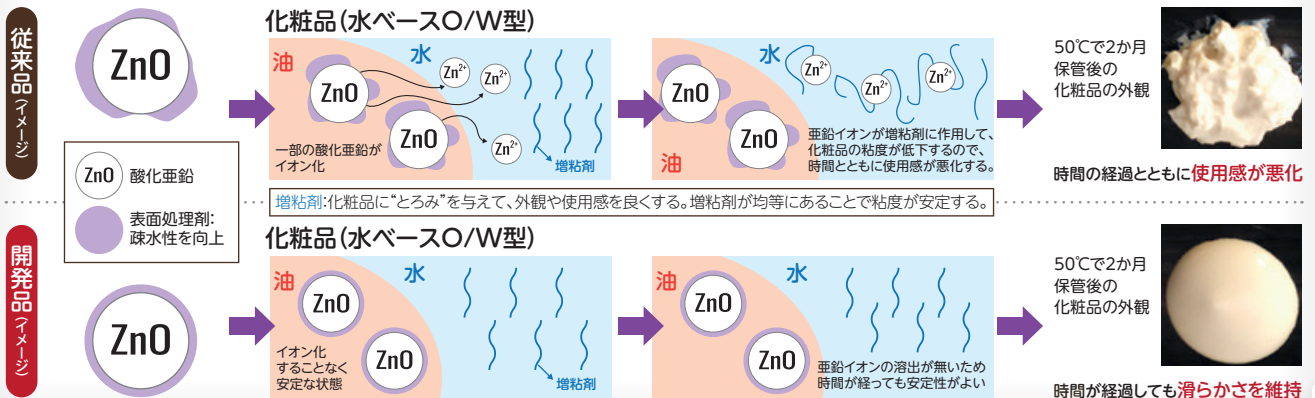
何が評価されたの?

日焼け止め化粧品の原料となる酸化亜鉛 (化学式: ZnO) は、時間が経つと水に溶けるとい性質があり、水に溶けると亜鉛イオン (化学式: Zn^{2+}) が生じる。その亜鉛イオンが影響を及ぼし、化粧品の外観や使用感を悪くするという大きな課題があった。

「増粘剤を含有した水をベースとする
日焼け止め化粧品 (=O/W型という) 」
には酸化亜鉛の使用が難しかった。

テイカは水に溶けにくい酸化亜鉛を開発。
増粘剤を含有したO/W型の日焼け止め
化粧品にも酸化亜鉛の使用が容易となった。

この水に溶けにくい
酸化亜鉛の開発が評価され、
今回トップ10に選出された!



今回、多数の参加者に発表を通してテイカの技術がアピールできました。

さらに詳しい説明を、当社ウェブサイト
(<https://www.tayca.co.jp/products/pdf/20231101.pdf>)
に掲載しています。この機会に、ぜひご覧ください!

詳しくは
こちらから!

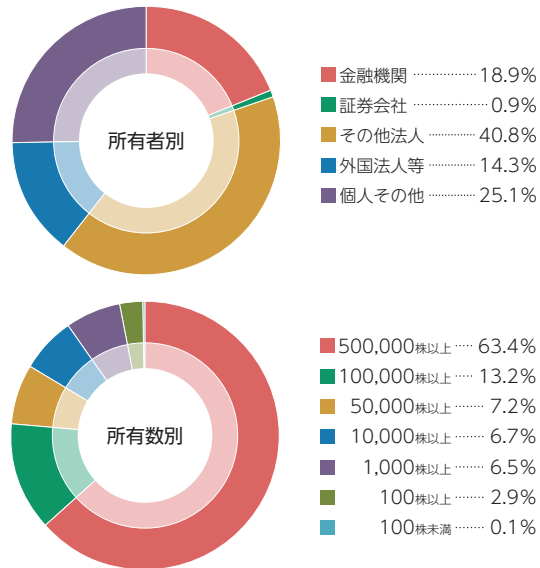


発行可能株式総数 75,000,000株
発行済株式の総数 25,414,414株
株主数 4,255名
大株主

順位	株主名	所有株式数 (千株)
1	CACEIS BANK/QUINTET LUXEMBOURG SUB AC/UCITS CUSTOMERS ACCOUNT	2,437
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,954
3	三井物産株式会社	1,784
4	三菱商事株式会社	1,630
5	山田産業株式会社	1,470
6	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,009
7	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	944
8	テイカグループ持株会	854
9	中央日本土地建物株式会社	694
10	関西ペイント株式会社	612

(注) 当社は、自己株式2,399千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

分布状況



会社概要 (2024年6月26日現在)

Corporate Profile

創 立 1919年(大正8年)12月
資 本 金 9,855,953,999円
従 業 員 540名(単体) (2024年3月31日現在)
事業内容 各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)
事 業 所
本社事務所 大阪市中央区谷町4丁目11番6号
〒540-0012 電話(06)6943-6401(代)
本 店 大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場 〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店 東京都中央区日本橋3丁目8番2号
〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場 岡山市東区西幸西1072番地
〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場 岡山県赤磐市小瀬木50番地1
〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役 員 代表取締役 社長執行役員 出 井 俊 治
取締役 常務執行役員 中 務 康 介
取締役 上席執行役員 岩崎多摩太郎
取締役 上席執行役員 村 田 悦 宏
取締役 常勤監査等委員 宮 崎 晃
社外取締役 監査等委員 田 中 等
社外取締役 監査等委員 山 本 浩 二
社外取締役 監査等委員 尾 崎 まみこ
社外取締役 監査等委員 井 上 剛

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日 3月31日
期末配当金受領株主確定日 3月31日
中間配当金受領株主確定日 9月30日
定 時 株 主 総 会 6月下旬
単 元 株 式 数 100株
株 主 名 簿 管 理 人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
同 連 絡 先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法 電子公告
公告掲載URL <https://www.tayca.co.jp/>
(ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所 東京証券取引所 プライム市場

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



テイカ株式会社

<https://www.tayca.co.jp/>

本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。